

第47回「ハートミーティング」意見交換の内容について

土木事務所広報プロジェクトチーム

★参加メンバーからの主な声

- 今回の貴重な体験を糧とし、市民の暮らしの最前線を守っているという気概を持ち続けるとともに、常に市民感覚を意識できる職員を目指して頑張っていきたい。
- 市長から、市政全般に対する想いと、市職員が置かれている立場などについて話を伺い、更に広い視点で業務を遂行していくことや、職員の意識をスピード感を持って変えていくことの必要性について強く感じた。
- リーフレットの内容について、短期間にまとめ上げるため、掲載したい事項を厳選し、市民にできるだけ簡潔にわかるようメンバーで必死に考え抜いた。市長から「よくがんばって良いものをまとめ上げた」との言葉をいただき、感激した。
- 最初はやはり硬さもあり、そういった中で人に思いを伝える難しさを改めて感じたが、市長のポジティブな人柄もあり、終わる頃にはみんな笑顔で話を交わしていたことが非常に印象に残った。

★市長からのコメント

- 昼夜を問わず、市内を最もくまなく走り回っているのが土木事務所の職員である。安心・安全な市民生活を守る最前線の仕事であり、市民目線を第一に、これからも誇りを持って業務に取り組んでほしい。
- 土木事務所の幅広い仕事が目でわかる、よく出来たリーフレットである。また、キャッチコピー（『京のみち 110 番』）も非常に良い。

「あぶないときは直ちに土木事務所に連絡を。そして、一緒に安心・安全な暮らしを守りましょう」と、市民と共に頑張っていこうとする働きかけは素晴らしいことである。
- 市民の声を聴き、その考えや気持ちを酌みながら作り上げたこのリーフレットを通じて、土木事務所がより市民にとって身近なものになることを期待したい。